

2026年(R8年)



No. 402

# ひとはろうしん



社会福祉法人 ひとは福社会  
〒739-1203  
広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

年末年始は最大9連休となり、ゆっくり過ごされた方も多かったのではないでしょ  
うか。年明けは降雪の影響もありましたが、皆さま無事に新年を迎えられたことと  
おもいます。

児童支援部門を利用する子どもたちにとって、冬休みはクリスマスやお正月など  
楽しみが多い時期です。くらむぼんでは、冬休みの6日間の活動の中で、近隣  
にお住まいの砂田さんから神楽面作りを教える機会がありました。砂田さん  
は美土里町の神楽門前湯治村で神楽面工房を主宰されており、白頃から子どもたち  
に声をかけてくださる地域の方です。

昨秋、「子どもたちに神楽面を作ってみないか」とお声がけいただき、打ち合わせを  
重ねて冬休み中に2日間来所していただきました。色付けの方法や注意点を教わり、  
普段はおちゃらけている子も真剣な表情で取り組み、世界に一つだけのお面が完成  
しました。

活動後には「みんなかわいいのう。また来させてもらいたい」と砂田さんにも喜んで  
いただきました。

地域の方に関心を寄せていただき、協力を得ながら活動できることは、私たちが  
目指す姿そのものです。今年も多くの皆さまに支えていただきながら充実した  
一年にしていきたいと思います。  
(理事長 佐竹正充)

ひとは40周年を記念したイベントを企画しています。地域の方、後援会の方、  
ひとはに関わる全ての方にご参加いただきたいイベントです。入場、ステージ  
企画鑑賞は無料です。昼食類はありませんが、温かいコーヒー、ひとは商品  
の販売あります。2月28日(土)は会場の「みらい」に足を運んでいただき  
ますようご案内します。  
(イベント企画担当: 竹内宏美)

Hi, I saw Naoki and Daisuke's bowls at Tomonotsu museum today and  
I thought they were so beautiful and moving, I really thought they looked incredible  
in person and was really moved.

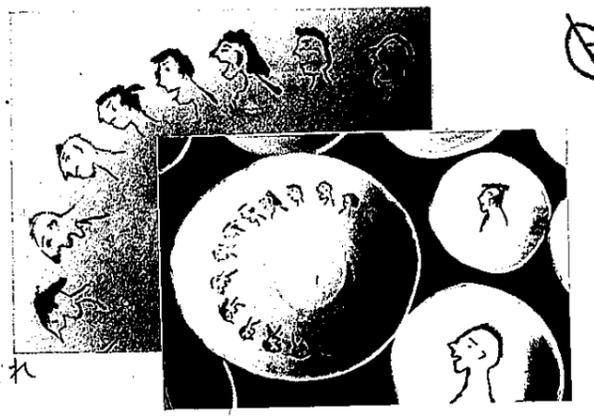
I'm such a huge fan. Thank you Daisuke and Naoki!!

こんにちは、今日鞆の津ミュージアムでナオキとダイスケのボウルを見ましたが、とても美しくて  
感動的だと思いました。実際に見ただけで本当に素敵だと思っ、本当に感動しました  
私はとても大ファンです。ダイスケとナオキ ありがとう!! (翻訳機エリ)

外国人の方から、ひとはの子どものりばのInstagramに届いたメッセージです。  
ひとはから出品した作品の中のひとつに、内藤さんが形を作り、河野大輔さんが絵付けをした  
「うつわ」がありました。その作品を、たまたま見られた外国人カプルの方がとても気に入られ、「ぜひ  
購入したい!」と絶賛されたそうです。この方たちはアニメーションの有名な絵コンテ作家さん  
のお二人のようでした。

## 絵付けをした河野大輔さん

「びっくりしたし、嬉しかった。紙と絵の具と  
筆が大嫌いだ、なのに、ひとはでアート活動  
をするようになって、嫌なものがこれぐらい  
のことしかできんけど...って思いながら、  
認めてもらえたと感じた。ひとはの  
スタッフに『好きにやっ、いいよ』と言われ  
たことで、やってみようという気になった。」



### 「あっ♪」

ひ

三輪さんは秋ごろになるとひとはの旅行が気になり、何も予定がない日を指差すことが多くありました。「予定がないなら作ってみては？」というところから個別余暇の話となり、ホームスタッフの菅さんと東広島に行き、とんかつを食べた後に大好きなチップスターとコーヒを購入したとのこと。入浴時に「とんかつ美味しかった？」と尋ねると満面の笑み。近くに菅さんがいたため「連れていってくれてありがとうと伝えてみては？」と三輪さんに話すとすぐ菅さんの方を向いて、これまた今まで聞いたことない声色で「あっ♪」と彼なりの「ありがとう」を伝えていました。見ていた私も「行ってよかったね」と心が温かくなるワンシーンでした。(ひとは作業所 久家 徹也)

### 「チャレンジタイムは討論会に」

は

好きなことが出来る「チャレンジタイム」。S君は、万博から宇宙への興味が湧き、ISS「宇宙ステーション」を作ると言う。一緒に作りたかったT君。S君は納得しない。激論が始まり話題はAIから人口減、環境問題、政治、戦争、学校のことまで広がり、まるで国会討論会のような。とても小学3年生には思えない。T君の「学校に行きたくないときもあるけど、オレ友だちにあいたくなるんだよね」の言葉に二人はほっと笑顔に。気持ちはずきと握手のようだ。40分間の激論はいい経験になったようだ。(ひとはほこ 竹田 佐代子)

### 「やさしいきもち」

日

ある日療育に来たS君は、私好みのとてもかわいいTシャツ(アボカド柄)を着ていました。私はその日何度も「かわいい」とS君に言い、帰りの車で「どこで買ったの」とついS君に聞いてしまいました。「おかあさんが買ったからわからん」とS君。「そっか〜そうだとねえ」と私が言うと、かわいそうに思ってくれたのか、「おかあさんに買ってもらうか」とそれは申し訳ないから大丈夫と言うと、「じゃあ(菅原君の)おかあさんに買ってもらう」と提案してくれました。70代の母にアボカド柄のTシャツをねだる自分の姿を想像したら笑えましたが、私のために色々考えてくれた優しいS君でした。(ひあくらぶ 菅原 陽子)

夕

### —ひとは40周年を迎えて—

ひとはの第一印象と言われたら「すごいところだ」です。きららが当たり前のように事務所に行き、スタッフの机の上を覗き込み、引き出しをガラッと開ける。それは理事長の机でもです(もちろん大切なものはし、かりと管理した上で)。

当初はこんなにフリーダムでいいのか…と思うこともありましたが、今となっては事務所にきららがいないという事がありえないくらいに当たり前になり、スタッフが椅子に座っているかと思っ、て挨拶したら、きららだ、たなんて事はタマあります😊

分け隔てなく、きららが傍に居るのが当たり前というひとは。こんなにもきららとの距離が近い施設は他には無いのではと思います。

今あなたにとって、ひとはとはどんな場所?と聞かれたら自信満々に「自慢できる場所」と答えます。機会があればこの自慢できる場所には、色々な方に遊びに来てもらえたらと思います! (田端 乃亜)

15周年の記念誌から5年ごとに記念誌を作ってきました。その時々には、どんなものにするかスタッフで知恵を出し合いました。15周年「別冊ひとは」20周年「別冊ひとはフライング」25周年「ゆたらかに」、30周年が「こころえ帖」です。どの記念誌もひとはにふながるみんなが協力して作ったものです。今回の40周年記念誌「ひびきあう」も、もうすぐ完成します。日々の中で、仲間の声に耳を傾け、共感したものを集めました。一人ひとりがかけがえのない人生を送るためには、これからのひとはの進むべき道を模索していく一助になれば幸いです。(伊藤 千代子)

編集後記

「一月住める二月逃げる三月去る」ということわざがある。この時季は行事も多、時はあつ、間に過ぎていく。年を重ねるごとに更にそのスピードが速く感じるのは私だけだろうか。そういえば...、新年に「今年こそはウォーキングでもしようかな」と思ったが、いまだ実行はできていない。すでに一月を経過してしま、た。このままでは内脂肪がたまる一方で、少々焦りも感じる。2月こそは実行したい。2月、どうか逃げたいぞ!! (内藤 麻妃)

# ひとは40周年 記念企画イベント

令和8年2月28日(土)

場所: 向原生涯学習センターみらい  
(安芸高田市向原町坂333)  
向原駅より徒歩10分

主催: ひとは福祉会  
問い合わせ: ひとは福祉会本部  
0826-46-2960

ひとは福祉会に関わる全ての方にご参加いただけるイベントです。入場、ステージ企画鑑賞は無料です。

## プログラム

- 12:00 開場
- 13:15~ ステージ企画開幕
- 13:20~ ひとは40年を語り合う企画
- 14:10~ 休憩
- 14:40~ ザ・わたしたちコンサート
- 15:30 閉幕

パネル展 写真展示

喫茶コーナー 深川珈琲の竹炭コーヒー

ひとは自主製品販売 復刻商品

## 会場図



みらいのホールや研修室を使ってイベントを行います。駐車場あり。コーヒーやひとはのお菓子はありますが、飲食物(昼食類)はございません。ご承知ください。